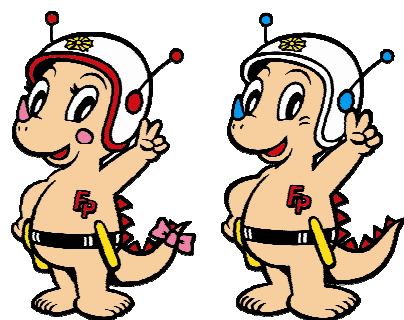


福井県公安委員会 開催概要

平成30年12月20日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 平成30年度狩猟期に伴う県警察の取組

県警察から、平成30年度狩猟期に伴う県警察の取組について説明があった。

委員から「最近の狩猟は、農業被害を防ぐことの意味合いが大きくなってきており、これまでにない対応が求められているのではないかと思うが、県との連携はされているか。」との発言があり、県警察から「有害鳥獣駆除対策については、県と連絡会を開いている。県警察では、事故防止の観点から指導・取締りに取り組んでいる。また、狩猟期以外の鳥獣害について、市町の有害鳥獣駆除担当者と連携し現場対応するなどしている。」との説明があった。

委員から「猟銃の初心者を対象に巡回指導を実施するなど、事故防止に万全な取組がされていると思う。今後も狩猟事故がないよう頑張っていたきたい。」との発言があった。

委員から「狩猟者が持つ猟銃は危険を伴う道具であるから、ベテランの方へも指導等をお願いする。」との発言があった。

(2) 高齢運転者対策

県警察から、高齢運転者対策の推進状況について説明があった。

委員から「高齢者の事故が増え、どのように未然防止するかという対策が必要である一方、福井県では車がないと生活できないという実情もあり、高齢者の生活基盤をどう確保するか、非常に難しい問題をはらんでいる。県等の行政機関と連携した取組をお願いする。」の発言があった。

委員から「平成29年3月の道路交通法改正からいろいろな取組が進められてきていると思う。認知症への対策は大きな課題であるので徹底されると良い。」との発言があった。

委員から「認知症の恐れがない方でも、高齢による身体機能への影響はあるから、そのような方が事故の被害者、加害者にならないよう、例えばサポートカーを推奨す

るなどの対策が必要になってくるのではと思う。お元気な方への指導を何かお願いしたい。」との発言があり、県警察から「自動車学校で実施するシルバー・セーフティ・ドライビング講習ではサポートカーを使い、実際にその良いところを体験していただいている。また各警察署では、管内の高齢者を対象とした講習会を開催するなどしており、今後も取組を検討していきたい。」との説明があった。

2 個別案件

〈審議事項〉

個人情報非開示決定に係る審査請求に係る採決について説明を受け、これを審議した。

3 個別決裁等

(1) 行政訴訟事件に係る措置

自動車運転免許取消処分取消請求事件に係る措置について説明を受け、これを決裁した。

(2) 平成30年11月中の「警察あて苦情」

平成30年11月中に警察に寄せられた苦情の受理及び処理状況について報告を受けた。

(3) 指定講習機関廃止許可申請の受理

指定講習機関廃止許可申請書の受理及び県報掲載について説明を受け、これを決裁した。

4 運転免許の処分関係

本日（12月20日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等13件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。